

大雪カムイミントラ通信 2011 ③

つなげて健やか 大雪のめぐみ



豊かな自然や清らかな水など、大雪カムイミントラエリアの素晴らしさをイメージ化し、全国に向けてPRするためのロゴマークです。

第3回

誰もが訪れやすい旭川づくりを目指す 『車いす紅蓮隊(ぐれんたい)』

「大雪カムイミントラ通信」は、上川総合振興局と旭川市鷹栖町・東神楽町・当麻町・比布町・愛別町・上川町・東川町・美瑛町の1市8町における、大雪山という宝物を生かした地域の取り組みを紹介するものです。健康をキーワードとした地域資源の連携事例を追う今シリーズ。第3回目は、障がい者の立場から誰にでもやさしい旭川づくりを目指して、さまざまな取り組みを進める「車いす紅蓮隊(ぐれんたい)」の活動にスポットを当てます。



UD(ユニバーサルデザイン)みこしを担ぐ参加者の方々(旭川夏まつり)

車いすに熱い心を乗せてまちを縦横無尽

今年の旭川夏まつりに「UD(ユニバーサルデザイン)みこし」が登場した。皆さんはご存じでしたか。これは、車いす利用者や障がい者と健常者が一緒に担ぎ楽しむことが出来るみこしのこと。2009年の夏祭りでお目見えしたものの、このみこしの開発や、祭りへの参加呼びかけなどを中心となつて進めたのが「車いす紅蓮隊」だ。

同隊は、「誰にもやさしい旭川づくり」を目指し、障害の有無を問わず誰でも参加出来る市民グループ。障がい者がもつと積極的なまちなみに出て、熱い心を持って行動しようという意気込みを込めてこの名前が付けられました。中心メンバーは私を含めて車いす利用者2名、健常者1名の計3名ですが、イベントがあれば80名ほどが参加してくれるんですよ」と、代表の五十嵐真幸さんは話す。



車いす紅蓮隊 代表 五十嵐真幸さん



車いすの人が乗れる犬ぞり作り(雪中でもなれ隊・大雪)

車いすで担げるみこしの誕生へ

やがて、五十嵐さんは障害を持つ人が外に出るといっただけではなく、イベントなどにもどんどん参加出来るようにしたいと、考え始めた。「例えば、わざわざ雪の中を冬まつりに出かける車いす利用者はこれまであまりいなかったのですが、企画委員会に入れていただくと、車いす利用者でも大雪像の上に登ることが出来るように、自衛隊の協力を得ながらスロープを作るなどしています。



アダプトスポーツ体験

今年で3年目となる「UDみこし」は評判を呼び、「自分も担いでみたい」と夏祭りに合わせて道外から車いすで訪れる人が出てきたほか、那覇まつりへのみこしの遠征も決まった。障がい者にとつて過こしやすいまちづくりの向こうには、住む人にも旅行者にもやさしい社会が広がっているはずだ。

バリアフリーに関する旅行情報を発信



「雪の中でもなれ隊・大雪の活動を通じて、車いすでも入れる店などを調べるうちに「もっとバリアフリー情報の発信を」と意欲がわいてきた五十嵐さん。障がい者や車いすの旅行者に地域の観光施設や宿泊施設などのバリアフリー情報を提供するツアーセンターは、NPO法人等の運営で全国に十数か所あるが、道内にはなかった。



活動内容を広げていきい」と、五十嵐さんは熱く語った。

2011大雪カムイミントラ・スタンプラリー開催中

北海道の中央にそびえる大雪山連峰。その雄大な山々のふもとに位置する「大雪カムイミントラ・エリア」で今年もスタンプラリーを開催します。エリア内の「大雪カムイミントラ宣言」に賛同する観光施設やレストラン、ホテルなどに設置してあるスタンプを3つまたは6つ集めて応募すると、航空券やフェリー乗船券、地域の特産品など、抽選で約290名様にすてきな賞品が当たります。



読者プレゼント!



大雪銘菓「よもぎの里」
[ゆめや製パン菓子舗].....1名様
しっとりプリン
[和)グリーンウェーブ].....1名様
ハム・ソーセージ詰合せ
[山崎の四季].....1名様

はがきに①住所②氏名③電話番号④年齢⑤あなたが思う大雪カムイミントラ地域の宝物⑥本紙面や大雪カムイミントラ事業へのご意見を明記し、〒070-8720(住所不要)北海道新聞旭川支社営業部「大雪カムイミントラ通信企画」係へ。(10/11(火)消印有効)